

(1) 育暎保育園の保育理念

地域の中の保育園として、子育て支援、子どもの最善の利益を考え、地域に愛される保育園を目指す。

(2) 育暎保育園の保育方針

いつも本物を意識し、自然体験(田、畑、土、水等)を通し、子ども達の豊かな人間性を引き出しながら、主体性のある子どもを育成する。

(3) 育暎保育園の保育目標

- 十分に養護の行き届いた環境の下、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を適切に満たし、生命の保持及び、情緒の安定を図ること。
 - 健康、安全などの生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培うこと。
 - 人とかかわりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にすることを育てるとともに、自主、協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培うこと。
 - 自然や社会の事象についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の基礎を培うこと。
 - 生活の中で、言葉への興味や関心を育て、喜んで話したり、聞いたりする態度や豊かな言葉を養うこと。
 - 様々な体験を通して、豊かな感性を育て、創造性の芽生えを培うこと。
- 以上のような目標を土台に子どもたちが安心して快適に過ごせる園生活を創造していきます。

(4) 保育時間・延長保育・慣らし保育について

- 保育時間：月曜日～金曜日 8時30分～16時30分まで
土曜日 8時30分～16時30分まで
- 延長保育：月曜日～金曜日 7時～8時30分・16時30分～19時まで
土曜日 7時～8時30分・16時30分～19時まで

*19時にお迎えが間に合わない場合は必ず代理の方のお迎えをお願いします。

- * 延長保育を希望された方は、園に延長保育申込書を提出して頂き、厳密に審査の上、延長保育承諾書を発行させていただきます。(申請時間は勤務時間+通勤時間、在宅勤務の場合は通勤時間+自宅からの時間となります。ご自身の準備の為に自宅に戻られたり、買い物等の時間は含まれておりません。お仕事が終わり次第お迎えをお願いします。)
尚、時間内に必ずお迎えをお願いします。
- 慣らし保育：入園当初は、児童の負担を軽減する為に、集団生活に順応できるようになるまでの期間(約1週間～2週間)は短時間保育を行います。児童の状況に応じた保育時間を設定致しますので、ご協力をお願いします。

(5) 一日の流れ

【乳児】

7:00～8:30	延長保育(希望者)
8:30～9:00	登園、受け入れ、視診
9:05～	おやつ
	朝の会
9:45～	クラス別活動
11:00～	昼食準備
12:00～	片付け、着替え、排泄
12:30～	午睡準備、午睡
15:00～	目覚め、着替え、排泄、手洗い
15:10～	おやつ、片付け
15:50～	降園準備、帰りの会
16:00～16:30	順次降園
16:30～19:00	延長保育(希望者)

【幼児】

7:00~8:30	延長保育(希望者)
8:30~9:00	登園、受け入れ、視診
9:15~	朝の会 クラス別活動
11:15~	昼食準備
12:20~	片付け、着替え、排泄
13:00~	午睡
15:00~	目覚め、着替え、排泄、手洗い
15:10~	おやつ、片付け
15:50~	降園準備、帰りの会
16:00~16:30	順次降園(外あそび)
16:30~19:00	延長保育(希望者)

(6)年間主要行事(令和4年度予定)(新型コロナウイルス感染状況等によって変更中止となる可能性があります。)

- 4月** 入園式(予定)、慣らし保育(10日前後)
懇談会(予定)・保護者会総会(予定)
- 5月** 尿検査
個人面談(0, 1, 2歳)、田植え、
さつまいも苗植え、とうもろこし苗植え
運動会
- 6月** 保育参加、個人面談(3, 4, 5歳)、
じゃがいも収穫
交通安全指導
- 7月** 個人面談(3, 4, 5歳)*6月の続き
七夕、プール開き、お楽しみ会*従前のお泊り会(わかば)
保育参加、夏祭りごっこ
- 8月** プール遊び、とうもろこし収穫
- 9月** 稲刈り
新米を食べる会(おにぎり作り)、
栗拾い、保育参加
- 10月** さつまいも芋掘り会、柿とり
ハロウィンパーティー
- 11月** 尿検査、聖護院大根収穫
ありがとうの日、焼きいも会
- 12月** 生活発表会、クリスマス会、大掃除
もちつき会、大根収穫、保育参加
- 1月** 保育参加、こま回し大会(幼児)

2月 節分会(豆まき)卒園遠足(5歳)

3月 ひな祭り会、お別れ会(5歳児を送る会)
卒園式

定期的行事

- 毎月行うもの:誕生会、避難訓練、身体測定、
- 内科健診(全園児):年2回(6月、11月) *母子手帳持参
- 歯科健診:年2回(全園児)
- 不審者侵入時の訓練(年2回)、水災害訓練(年1回)

保護者会主催行事(令和3年度実績)

- 保護者会総会(中止) □夏祭りごっこ
- お泊り会(5歳児保護者)*日帰りに変更

(7)休園について

- 日曜、祝祭日、年末年始(12月29日から1月3日)
- 休園を必要とする場合(伝染病、天災等)

(8)給食・お弁当について

- ① 献立表が月末に配信されます。見やすい場所に貼って下さい。
 - ②全園児、完全給食(主食、副食、間食)
 - ③土曜日と同様です。
- * 主食費代月額900円、副食費5,000円、合計5,900円がかかります。(毎月、納入袋にて集金します。:3~5歳児クラスのみ)
 - * 集金袋は毎月1日に配布。10日までに専用ポストに入れて下さい。(おつりのないようお願いします。)
箸、スプーン、フォークの3点セットを持たせて下さい。(コップ、お箸セットは毎日洗い、清潔なものを持たせて下さい。)
- ◎お弁当の日(幼児は月に1回、遠足に出かけます。)
- 毎月の献立表や園便りでお知らせしますので、月初めに確認して下さい。
持ち物は、お弁当、箸、おしぼり、シート(一人用)、水筒、着替え一式
- * リュックに入るサイズで使いやすいものをご用意下さい。
 - * 食べきれぬ量を入れて下さい。

(9)登降園について

園児の登降園において、いろいろ守って頂きたいことがあります。全園児の安全と保育活動がスムーズにいくために、保護者の皆様のご協力をお願い致します。

- 本園はセキュリティ強化の為、登降園の際は必ずセコムカードとネームプレートを着用して下さい。
- 登降園は必ず、保護者が責任を持って、保育室までの送り迎えをして下さい。園児だけの登園は禁止です。
- 迎えのとき、**代理の場合は必ず前もって保護者が保育園に連絡してください。連絡がない場合は園児をお渡しすることはできません。*送迎をされる方は高校生以上となります。**

○登降園の時は必ず、保育室又は1階テラスまで来て保育士に声をかけて下さい。

- ・ 登園は8時30分～9時までをお願いします。
- ・ 降園は16時30分までをお願いします。(保育短時間利用者)
- ・ 土曜日の降園はお仕事が終業しだいお迎えとなります。

***送迎時は必ず、ネームプレートを着用して下さい。**

○担任への伝達はお子様を通してではなく、必ず保護者の方がお伝え下さい。

(10)病気について

- ① 持病のある園児はあらかじめ、入園時にご連絡下さい。
- ② 病欠欠席の場合は、病名、お子さんの状態をご連絡ください。
- ③ 伝染病の場合は全快まで休ませ医師に登園許可書をもらってから登園させて下さい。

(登園許可書は園にごさいます。*HP からダウンロードする事もできます。)

■学校感染症一覧

○第一種伝染病

- エボラ出血熱 ●クリミア・コンゴ出血熱 ●ペスト ●マールブルク病 ●ラッサ熱
- 急性灰白髄炎(ポリオ) ●ジフテリア

○第二種伝染病(乳幼児によく起こる伝染病。診断がついたら園へ速やかに連絡しましょう。)

病名	出席停止期間	主な症状
インフルエンザ	発症後5日、かつ解熱後3日が経過するまで	突然の高熱や強い頭痛、せき、くしゃみ鼻水、嘔吐、下痢、腹痛全身倦怠感、筋肉や関節の痛み、食欲不振など。
百日咳	特有なせきが消えるまで、または、5日間の適正な抗菌剤による治療が終了するまで。	最初はかぜのような軽いせきで、くしゃみや鼻水が出る。発病後1～2週間を過ぎるとせきが激しくなる。
麻疹(はしか)	解熱した後3日を経過するまで	最初は発熱、せき、鼻水、目やになどかぜのような症状。発熱後4日目より皮膚に発疹に白い斑点がでる。
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	耳下腺、顎下腺の腫脹が発症した後5日間を経過し、かつ、全身状態が良好となるまで。	37～38℃の発熱があり、両側のあごの後ろ(耳下腺)が大きくはれ痛む。
風疹(三日ばしか)	発疹が消えるまで。	はしかに似たピンク色の発疹が顔、首、おなかに出始め、やがて耳の後ろや首のリンパ腺がはれる。目が充血し、のどが赤くなり、せきがでる。
水痘(水ぼうそう)	発疹がすべて、かさぶたになるまで。	微熱が出て、全身に発疹ができる。赤い斑点で中央に水ぶくれができ、かゆみがある。発疹は2～3日がピークでその後乾いて黒いかさぶたになる。
咽頭結膜熱(プール熱)	発熱、咽頭炎、結膜炎の症状が消えた後、2日を経過するまで。	39℃前後の高熱が4～5日続く。のどの痛み、せき、目やにや目の充血がある。頭痛、吐き気、腹痛、下痢を伴うこともある。
結核	伝染の恐れがなくなるまで。	せき。家族に結核の患者がいるときは疑う。
髄膜炎菌性髄膜炎	病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで。	頭痛、発熱、けいれん、意識障害、髄膜刺激症状。

○第三種伝染病

病名	出席停止期間	主な症状
----	--------	------

流行性角結膜炎 (はやり目)	医師が伝染の恐れがないと認めるまで。	伝染性の角膜炎と結膜炎が合併する目の伝染病。白目が赤く充血する。目やにや涙が出る。
急性出血性結膜炎 (アポロ病)	症状が治るまで。	白目が赤く充血する。
腸管出血性大腸菌感染症(O-157)	下痢のある期間	下痢、嘔吐、腹痛。

○その他の第三種伝染病

●コレラ ●細菌性赤痢 ●腸チフス ●パラチフス ●その他の感染症

○その他の伝染病(第3種に含まれる)

病名	出席停止期間	主な症状
溶連菌感染症	医師の判断による。抗生剤治療を行えば24時間以内に他人への感染を防ぎ、病原菌を抑制できる。感染の危険がなくなったことを医師に確認する。	溶連菌という細菌がのどに感染し、のどの痛み、38～39℃の高熱、おう吐、腹痛、頭痛などが起きる。体や手足に発疹が出て、舌はイチゴのようにブツブツになる。
手足口病	医師の判断による。	夏かぜのひとつ。初期は指、手のひら、足裏、唇やほおの内側、舌に白い水泡の発疹が出るが熱は高くなり、発疹がおしりやひざに出ることもある。水泡が破れて潰瘍となり、2～3日で炎症がおさまる。
伝染性紅斑 (リンゴ病)	本人が元気であれば出席停止の必要はないが、医師の判断をあおぐようにする。	ほおがリンゴのように丸く、赤くなる。発疹がおしりや太もものあたりにもでき、レース状や網状に見える発疹部分はほてり、痛み、かゆみがある場合も。
ヘルパンギーナ	医師の判断による。	夏かぜの一種。39℃前後の熱が2、3日続き、のどの奥に小さな水泡ができるため、食欲がおち、吐くこともある。2、3日で水泡がつぶれて痛みが増し、つばを飲み込むのも痛い。よだれも出る。
伝染性膿痂疹 (とびひ)	特に出席停止の必要はなく、範囲が広い場合は包帯などで覆うとよいが、医師の判断をあおぐようにする。(許可証は不要)	透明な水泡ができ、やがて白くにごる。水泡は破れやすくてかゆみがあるため、かきむしると菌がうつる。
感染性胃腸炎 ウイルス性胃腸炎 流行性胃腸炎	下痢をしているとき	下痢、おう吐。
マイコプラズマ肺炎	症状が改善すれば出席停止の必要はないが、医師の判断をあおぐようにする。	発熱、せき。

④ 園で急病になった場合は、直ちに保護者に連絡しますので、至急お迎えの対応をお願いします。

⑤ お迎えの連絡は、災害時個票の連絡先第1→第2→第3の順にご連絡致します。お迎えが無理な場合は、保護者の方自身でお迎えの手配をお願いします。

⑥ 朝の様子で保育士が異常を認めた時は休んで頂くこともあります。

⑦ 熱性痙攣等で座薬を挿入する場合は、医師の診断書が必要です。

⑧ 予防接種は体調を見ながら計画的に受けましょう。接種後のお預かりは経過観察と個別の配慮を必要としますので、午後の接種をお勧めします。

⑨ 薬について

・基本はご家庭で投与。可能な限り一日2回(朝、夕)の処方をお願いします。

・どうしても必要な場合

(1) 市販薬のお預かりはできません。

(2) 必ず医師から処方された薬(その病気の時に処方されたもの)をお持ちください。

(3) 持参する場合

透明マジックチャック袋に、お薬カードと一回分の薬を入れて下さい。

お薬、袋は必ず記名し、職員に手渡して下さい。

(11) 服装・持ち物について

◆全園児私服です。(着替えを園に置いておきます。全ての衣類にはっきり記名。)

○洋服は上下別々でつなぎのような、自分で脱ぎ着のしにくいものはご遠慮下さい。

○スカートやフード付きの服、チュニックやフリル付きの服は遊具にひっかかるなどの危険性と衛生上好ま

しくない(直接地面に肌着がついたり、おむつがついたりなど)のでひかえて下さい。

○外遊び用の靴、上履きは基本的には毎週金曜日に持ち帰りますが、汚れたら、その都度持ち帰ります。

*土曜日保育利用の際は土曜日に持ち帰り。

○持ち物全てに記名をお願い致します。

□持ち物(0歳～5歳)毎日もってくるもの・園に保管しておくもの

	品名	0歳 はな	1歳 そら	2歳 つき	3歳 にじ	4歳 たいよう	5歳 わかば	備考
1	連絡帳(乳児)	1	1	1	×	×	×	名前を忘れずに記入。
2	おしぼり *午前、午後おやつ、 お昼時使用。	3	3	3	×	×	×	ミニタオル(不可)
3	食事用エプロン	3	3	3	×	×	×	厚手でナイロン製
4	おむつ	10	10	10	×	×	×	*おむつの後ろに名前を記入。(登園時のおむつにも記名して下さい。) *丸めた時に分かるように。
5	おしりナップ	1	1	1 寄付	×	×	×	ケースなし。 (貼り付けタイプのふたを付けて下さい。)
6	手ふきタオル	途中から	1	1	1	1	1	タオル角に環を付けて下さい。
7	おはしセット	×	×	1	1	1	1	幼児は毎日カバンに入れて持参、2歳は後半から
8	コップ・コップ袋	1	1	1	1	1	1	毎日持ち帰る。(幼児のみ) *乳児は金曜日に持ち帰り。 *2歳は途中から毎日持ち帰り
9	水筒	×	×	×	1	1	1	コップタイプは×
10	着替え・靴下・パンツ・ 肌着・ズボン等	4	4	4	3	3	3	各自必要量持参 *見やすく、取りやすいように入れて下さい。
11	着替え袋	×	×	1	1	1	1	布製の巾着・乳児は引き出しに入れます。*2歳は途中から
12	ママバック(ビニール製)	1	1	1	1	1	1	汚れた洋服等をいれます。
13	カラー帽子	赤 1	水色 1	黄色 1	ピンク 1	オレンジ 1	黄緑 1	金曜日に持ち帰る。 カラー帽子は園で購入可。
14	午睡用布団(乳児)	1組	1組	1組	×	×	×	カバーを付ける。布団は金曜日に持ち帰り。布団持ち帰り時の袋は毎回持ち帰り。
15	午睡用品(幼児)	×	×	×	1組	1組	1組	幼児組(3歳から5歳)は、園のおひるねベッドを使用しますので、バスタオル上用、下用(各1枚)*冬場は子ども用毛布をご用意下さい。
16	上履き・上履き入れ	×	×	1	1	1	1	金曜日に持ち帰る。 マジックテープ式は不可 *2歳は途中から
17	通園用カバン	×	×	1	1	1	1	*2歳は途中から
18	マスク	×	×	×	1	1	1	予備を必ず通園バッグに用意。
19	外遊び用靴、外靴用袋	1	1	1	1	1	1	毎週金曜日に持ち帰る。 光る靴、鳴る靴は×
20	調理用エプロン、三角巾 エプロン袋、マスク(使い捨て)	×	×	1	1	1	1	*2歳は2月から

	て)							
21	野菜バック	1	1	1	1	1	1	園で収穫した野菜を持ち帰ります。 *ナイロン製が良いと思います。

全ての持ち物に大きく見えやすく記名。

*品名に網掛けがかかっているものは毎日持参するものです。

*幼児組は月に1回遠足あり。リュック、シート、水筒(お茶又は水)、弁当、おしぼり、着替え一式をご用意下さい。

(12)袋などの準備(市販のものでも構いません。名前は見やすい所に大きくハッキリと。)

■お着替え袋 縦45cm×横40cm程度 ⇨



■上履き袋

上靴を入れるのに使います。金曜か土曜に持ち帰ります。 ⇨

☆上靴が入る袋で、わかりやすいところに記名して下さい。



■ママバック(汚れ物バック)

*汚れ物(乳幼児)、エプロン、おしぼり(乳児) ⇨

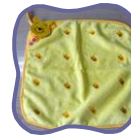
*ナイロン、ビニール製どちらでも構いません。



*お勧めする形は右写真の通りです。(乳児用) (幼児用)

■手ふき用タオル[はな組(途中から)]

*ひもを付けて下さい。(タオル掛けにかけますので) ⇨



■箸セット(スプーン、フォークはステンレスのものとお願いします。) ⇨

*プラスチック製は噛んで割れることもあるので避けて下さい。



■カラー帽子 ワンポイント(小さ目のもの1つ)を付けて下さい。⇨

*わかば組はワンポイントなし

■コップ



*持ち帰ったら必ず洗い、清潔な物を持たせて下さい。

*名前が消え(取れ)やすいです。まめに確認して下さい。



■野菜バック

*紐が長すぎないものを用意して下さい。 ⇨



*詳細は別紙を参照して下さい。

(13)ひるね布団について(幼児組はいりません)

○敷布団と掛け布団が必要です。

・ 掛布団 105cm×120cm程度 ⇨

・ 敷布団 90cm×130cm程度

*上記サイズは目安です。但し、大き過ぎるものはさけて下さい。(並べて布団を敷きますので)

○掛布団は季節に合わせて調節して下さい。(毛布→タオルケットなど)



○毎週金曜(土曜保育利用の方は土曜日に持ち帰ります。)に持ち帰り、干したりカバーを洗濯したりして下さい。(汚れたときはその都度持ち帰ります。)

*布団カバー、中身の布団に大きく記名して下さい。

■幼児用おひるねベッド ⇨



シートはバスタオルを使用。
毎週(金)消毒してください。

(お昼寝用ベッドのシーツの仕様)

幼児組(3歳から5歳)は、園のおひるねベッドを使用しますので、バスタオル上用、下用(各1枚)*冬場は子ども用毛布をご用意下さい。

- ・指定は130cm×55cm
 - ・四隅を15cm折り曲げて縫う。
 - ・四隅の角から15cmのところにごムを輪にしてつける。
- ゴムの長さ25~30cm 1.5cm~2.5cm幅

(14)園への連絡のしかた

☎欠席の連絡のしかた

欠席の連絡は(乳)8:45(幼)9:00までに必ずお願いします。

*朝おやつ、給食の人数の関係上、時間を守って下さい。

*勤務がない場合は、家庭保育にご協力下さい。

(15)園からの連絡

- 各クラスの様子やお知らせ等はホワイトボードをご覧ください。
- 全体へのお知らせ等は職員室横の掲示板をご覧ください。
- 園便り、クラス便り、献立予定表、保健ニュース、安全ニュース、たのしくたべようニュースは毎月、月末にHPにアップします。
- 連絡事項などは必要に応じて印刷物や一斉配信(メール)で連絡します。
*ウォールポケットに印刷物が入っていることがありますので毎日チェックして下さい。
- 緊急の場合はモバイルを活用したメール配信を行います。(登録が必要です。)

(16)退園・住所変更・勤務変更の連絡等

- ①年度の途中に退園する場合は、市役所「保育幼稚園課」と園長に連絡し、保育解除の申出書を提出して下さい。
- ②保護者の職場、勤務時間、住所、家族構成、電話番号等が変わった場合は住所等の変更届書(勤務先関係の変更は勤務証明も一緒に)を提出し必ず担任に伝えて下さい。
- ③健康保険証が変わった場合は、すぐに新しいものを園に提出して下さい。

(17)清潔・保健衛生

集団生活では、一人一人の清潔な状態が大切です。

たとえば爪が伸びていると不潔になるばかりではなく友だちにひっかき傷をつくることもあります。

登園するときには、身体、髪の毛、衣類はいつも清潔にし、爪は一週間に一度必ず切っておいて下さい。足の爪も忘れずに、また、耳も時々お掃除しましょう。

体調不良が感じられる際は無理して登園せず休ませるようお願い致します。

口や手はきれいにしてから登園しましょう。(アレルギーのお子様もいらっしゃいますので配慮をお願いします。)

(18)健康な園生活のために

新入園児のお子さんは、入園するとそれまでと全く違った環境で生活することになります。進級

児でも環境が変わると早く適応できる子もいれば、なかなか慣れない子もいるのです。その子のペースをいちばんわかって下さっている保護者の方に次のようなことに、ご配慮いただいて、お子さんの健康な園生活をサポートして頂きたいと思います。

①毎朝の体調チェックと病後の登園

毎朝、お子さんの具合に気を配り、体調が悪いときは早めに休ませるように心がけて下さい。また、病後はしっかり回復してから登園しないと再発する事が多いようです。十分休ませてから登園するようにして下さい。

② 朝食は必ずお家で食べてきましょう。

子どもにとって朝食を抜くということは、とてもつらいことです。活動意欲や集中力がなくなり、友だちがイキイキと活動していても、ついていくことができません。子どもの活動がもっとも盛んになる午前中に元気でいられるように、朝食は必ずバランスよく食べて登園して下さい。

車で食べたり、口に食べ物が入ったままの登園はやめましょう。

③朝、保育園に行きたがらないとき

ふだん泣かない子がぐずったりしている時は、熱の出始めや体調が悪いときもあります。

熱を計ったりして注意して見てあげて下さい。

体調が良くてもぐずるのは、たいてい、お家の人と離れたくなかったり、お父さんが休日だったり、叱られたりしたときなどです。前の日に友だちとトラブルがあったときも行きたくなくなる場合があります。

病気でないときは、「さあ、頑張っていってらっしゃい！」と明るく励まして保育園へ送り出して下さい。

④十分な睡眠と登園時間

できるだけ早めに床に入り、たっぷり睡眠をとり、朝の登園が遅くならないように心がけましょう。

とくに幼児組は早めに登園して頂けると、活動にスムーズに参加できます。

⑤保育園から帰ったらしっかり関わりましょう。

子どもは、保育園では自分と同じ年齢の集団の中で、緊張感や子ども同士のぶつかり合いで心身ともにエネルギーを使っています。それが、子どもなりの社会学習の経験なのです。その分お家ではたっぷり甘えたり充電することが必要です。

甘えるといっても、何でもいうことを聞いてあげたり、おかしやおもちゃなどをふんだんに与えるといった物質的な欲求をみたすような方向は避けるべきです。

それでは心の満足は得られないどころか、逆効果です。

大切なのはスキンシップやお子さんの話をきちんと正面を向いて聞いてあげること、一緒に遊んだり栄養たっぷりなおいしい食事を用意しておくのもいいですね。

十分な心と身体の充電をして次の日も元気に登園しましょう。

(19)持ってきてはいけないもの

自宅で遊ぶおもちゃ、カード類は、園に持ってこないようお願いします。

入園当初、「これがないと落ち着かない(例えば、ぬいぐるみやタオル等)」時などはその旨ご連絡下されば柔軟に対応します。また、園では遊具、玩具を使っています。細かい物もあり、まだ自分の物と人の物の区別がつかない、公共のものという意識がない年齢の子どももいますので、ポケットに入れて持って帰るときも入ります。遊んでいるうちに入ってしまうこともあります。いずれにせよ見慣れないおもちゃな

どを持って帰りましたら、「人の物、園の物をとってきた」と驚いたりせず、その時は良い学習させる良い機会ですから叱らずにきちんと話をし、園までご連絡ください。

(20) 友達同士のトラブル

友達同士の喧嘩で怪我をする場合もあります。喧嘩も人間関係において必要な経験ですから、私達は怪我をしない程度に見守るようにします。しかし職員の知らないところで怪我をした場合、たとえば止めるまもなくあっという間にかみついてしまった場合(年齢が低いほど良くあります)は、残念ながら痛い思いをさせてしまいます。

そんなときは、両方の保護者にその旨連絡いたします。怪我をさせたほうの保護者の方はひとことお詫びの連絡を相手の方に入れていただけると良いと思います。とくに元気の良い男の子の場合はお互い様です。子ども同士のトラブルは、しこりなど残さずあっという間に、修復するものですが、大人がこじれるとなかなか修復が難しくなります。お互いに人間関係を円滑にするための”ひとこと”が大切です。

ただ、怪我がすぐに消えてしまうような軽い場合は、両方に逐一連絡しません。なぜなら、元気な子ども同士の喧嘩は健全な発達のあらわれであり、成長と共に腕力でなく言葉で解決できるようになるからです。逐一お知らせすることで親がナーバスになるより、園内で解決させた方がよい場合もあるからです。その判断は園にお任せ下さい。

友だちを傷つけた場合、家に帰って叱る？

「頭ごなしに叱るべきではありません」園で起きた事柄は、園ですでに先生によって叱られたり、理由を聞いたり、謝ったりしてその場で決着しています。そのことを蒸し返してわざわざ叱る必要はありません。ただ、何も言わないより「どうしてしちゃったのかな？」とやんわり聞いてお子さんの主張を聞き「ちょっと失敗しちゃったんだ、こんどは気をつけようね」同意しながら話をすることは必要だと思います。また、万が一職員が気づかないところでのトラブルがあったら、園までご連絡下さるようお願い致します。

「いじめられた」という言い方を子どもの間でもよく聞きます。

しかし、よくよく聞くと「物を取ろうとして押された」「ブランコの順番をかわってくれなかった」

など自分の都合の悪いこと、主張が通らなかったことを「いじめられた」という言葉で伝えてしまうこともあるようです。

そんな時は「どうしたの？」と具体的に聞いてあげて、「おされて嫌だったのね」「○○くんと同じブロックが欲しかったのね」など具体的な言葉に言い直してあげます。「いじめ」という悪意を持って行動したのではない場合は、「いじめ」ということばに敏感になるのはお子さんに必要以上に人への不信感をもたせかねませんので、気をつけたいものです。もちろん、ケンカやトラブルがいじめのきっかけにならないように気をつける必要はあります。お子さんの話で気になるところがあったときは、遠慮なく園までご相談下さい。

(21) 園からのお願い

● 伝染性の疾患が発生したとき

・クラスのホワイトボードや貼り紙等でお知らせしています。必ず確認下さい。

● 子どもの様子がいつもと違う時

・健康観察上、嘔吐、下痢、元気がなく健康状態が思わしくないとき、あるいは、伝染性の病気を疑う等のときは迎えにきていただきます。発熱の場合、基本 37.5℃を目安に、平熱や前後の状態、計り直しなどの上判断します。熱がなくても状態によってはお迎えになる場合があります。ご協力をお願い致します。

・朝から37.5℃以上の発熱がある場合はお子さんをお預かりできません。

● 万が一、ケガをした時

・家でケガをしたときは、手当てをしてから登園しましょう。そして、その事を担任までお知らせ下さい。保育園で活発に遊ぶと、どうしてもケガは避けて通れません。すり傷などの小さいケガは大いに結構、痛い思いをするからこそ、「次は気をつけよう」と発達していくものです。すり傷、切り傷、打ち身等軽傷の場合は園で処置します。

・園で病院に行くようなケガをした時は、その状況を連絡します。状況によっては病院に付き添って頂くよう、お願いするこ

ともあります。ご協力をお願いします。

その後の通院はできるだけお家の方と行っていただきたいのですが、仕事等で時間がとれない場合は園で通院の代行を致しますのでご相談下さい。

- ・提出して頂いた、保険証コピー、及び子ども医療のコピーは、上記のように、病院に行かなければならない時に使用させていただきます。

* 国民健康保険の書き替えは10月1日です。新しい保険証に変わりましたら、新たに保険証の写しを提出して下さい。

●お仕事がお休みの時は家庭保育にご協力下さい。

●連絡先を明確にするようお願いいたします。

- ・緊急時に連絡が取れるよう、通常の連絡先が異なる時は必ず担任に伝え明確にしておきましょう。

□延長保育をご利用になられる保護者の皆様へ

㊦保育標準時間の延長保育利用料（18：00から19：00）（P1（4）参照。）

- ① 18：00～19：00 30分 200円

㊧保育短時間の延長保育利用料

- ① 7：00～8：30 30分 200円
- ② 16：30～19：00 30分 200円

㊨超過分の利用料（19時以降のお迎えになった場合）

1分50円

超過分利用料の算出の仕方

保育士の時給の平均（超過勤務手当含む）÷1H(60分)×保育士(2名分の人件費)

尚、天災の時(3.11のような地震や台風の場合等)は上記の限りではありません。

* 個人的な理由、道路状況、電車のダイヤ等で遅れる場合は、事前に代理の方のお迎えをお願いします。

* 公共交通機関をご利用方で人身事故、機器の故障等で遅れる場合は、駅にて遅延証明書を発行していただき園に提出して頂ければ、時間超過分は徴収いたしませんので宜しくお願い致します。

【保護者に負担していただくもの詳細】（令和4年度）

幼児（3. 4. 5歳）：（主食代・副食代）-月額 5,900円・バス維持費 月額500円

【個人持ち教材について】教材等費用一覧表（令和3年金額）*令和4年度は多少変更になる可能性有。

項目	徴収対象	徴収時期	金額の目安(税込み)
名札(各クラスカラー)	全員	新入・進級時	150円
カラー帽子(たれ無し)クラスカラー	希望者	随時	638円
カラー帽子(たれ有り)クラスカラー	希望者(幼児のみ)	随時	1056円
セコムカード(必要枚数購入可)	新入園児他	入園時・随時	1000円
教材用本	3歳児～5歳児	新年度教材注文時	398円～470円
お誕生カード	全園児		円
はさみ	幼児組		440円～605円
のり	幼児組		242円
粘土	幼児組		315円
粘土板	幼児組		570円
粘土べら	幼児組		180円
粘土ケース	幼児組		380円

パステル(16色)	幼児組	572円
お道具箱	幼児組	920円
こま	3歳児	250円
自由画帳	幼児組	280円
なわとび	4歳児	517円
えのぐ	5歳児	1068円
鍵盤ハーモニカ(ホース・吹き口)	5歳児	希望者実費
製作教材費(折り紙・画用紙等)	0歳児	850円
製作教材費(折り紙・画用紙等)	1歳児・2歳児	1100円
製作教材費(折り紙・画用紙等)	3歳児・4歳児	1600円
製作教材費(折り紙・画用紙・卒園製作舎)	5歳児	2100円
紙オムツ処分代(月額)	使用児	使用終了月まで 200円

* 製作教材費以外のものについては年度によって変動することがあります。

* 幼児カラー帽子はたれ有り、たれ無しの中からかを選択して下さい。

* 育暎保育園から購入してもらう物は毎年、幼児のみの物については、幼児組に進級した時に購入して頂くものです。現年度のにじ組、たいよう組は必要な物のみを購入して頂ければ結構です。カラー帽子についてはご自身で購入されても構いません。

* ネームプレートは1枚100円です。

* セコムカードは1枚1,000円です。

□ 各種申請書のダウンロードについて

HP、トップページ保護者専用のページ「各種申請書」から以下でのものがダウンロードできます。

* ユーザー名、パスワードの入力は必要ありません。

- ① 登園許可書
- ② お薬カード

(22) 家庭にお願いすること

(1) 登園までに

- ① 子どもが目覚めてから、一緒に家をでるまで1時間位見てください。
- ② 洗顔、排泄、着替えをきちんとさせて下さい。
- ③ 朝食は栄養のバランスを考えてきちんと食べさせて下さい。
- ④ 叱ったり、叩いたり、早く早くとせかささないで下さい。

(2) 家に帰ってから

- ① 保育園からの連絡は必ず見て下さい。
- ② 夕食はなるべく手作りの食事を、やむを得ずできあいを買った時は、盛り付けに工夫をするなど手を加えて頂ければと思います。
- ③ 片付けなど、後回しにしても、一家団欒をして下さい。たとえば、テレビを一緒に見る。お風呂に一緒に入る。1、2歳児でも食事の支度、片付けなど、できることは少しでも手伝いをさせるなど、夜の一定時間は、子どもと過ごす気持ちになってあげて下さい。
- ④ 夜、寝る時間は、お休みの挨拶、手洗い、歯磨き又はうがいなど、生活のきまりは守らせて下さい。一人できるように応援してあげて下さい。又、童話を聞かせながら、添い寝をするのも良い事です。
- ⑤ 子どもが寝てから、家のことにせいをだし、明日の準備、家族の語らいなど充分にしていきましょう。
- ⑥ 共働きは忙しく、子どもが小さい時は本当に大変です。家族の協力が大切です。

(3) 休みの日は

- ① ゆっくりと一緒に過ごして、子どものペースを守り、休みであることを楽しませてあげて下さい。散歩、ボールころがし、積み木遊びなど、面倒がらずに子どもの相手をしてあげて下さい。また、

一緒に楽しく仕事をするのは、子どもにとって遊びとなり、みんなで分け合って、たまった仕事を片付けるのも1つの方法です。

- ② 生活リズムに気を配ってあげて下さい。